

施策評価表

平成28年度分

① 施策コード	7・1・2	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	観光交流を生み出す仕掛けづくり			○		
③ 目標	観光交流人口（暦年）					
④ 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 近年、ライフスタイルや価値観の変化にともなって、観光の形態やニーズが多様化しており、従来の「見る」観光に加え、地域固有の資源を生かした「体験・交流する」観光の需要が高まっています。 ◆ 本町の主な観光資源は、「蔵の郷土館齋理屋敷」、「不動尊公園キャンプ場」、「阿武隈ライン舟下り」などがあり、自然や歴史に触れることができるものが中心です。このほかに町では、「いきいき交流センター大内」、「八雄館」、「手しごと館」、「滞在型市民農園」といった観光・交流の拠点となる施設を整備し、丸森型グリーン・ツーリズムの推進に努めてきました。 ◆ 平成25年から開催されている「サイクルフェスタ丸森」は、県内外からの参加者が集まり「丸森の自然と人との交流が楽しめる」と自転車愛好家から注目されているイベントの一つとなっています。 ◆ 今後も、豊かな自然や歴史・文化が育んできた地域資源を生かし、交流人口の拡大と、それに伴う経済的な波及効果へ結びつけることが重要となります。また、観光産業だけではなく、様々な産業の人が関わり地域全体で観光客を受け入れていく仕組みづくりも必要です。 	施策の内容	インターネット等による情報発信の強化や、「齋理幻夜」、「サイクルフェスタ丸森」等のイベントをはじめ、丸森町の自然、歴史・文化等の豊かな地域資源を活かしたグリーン・ツーリズムの推進を図ることで交流人口の回復増加と地域活性化を目指します。			

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)				
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
各種ツアー参加者数	人	0	498	500	600	700	225
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)				
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
各種ツアー参加者数	人		498	500	600	700	225

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	34,027	24,774	28,862	22,500	22,500

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	各種団体等に補助金を支出し、事業遂行に寄与した。補助を受けた団体が事業遂行することで、観光振興及び交流人口拡大がはかられた。本町最大の催事である齋理幻夜をはじめ、近年、人気催事になりつつあるサイクルフェスタ丸森等イベント集客でも交流人口拡大に寄与した。
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要

今後の取組

⑩ 今後の取組	現状維持ではあるが、「現状維持は後退」との見方もある。現状に甘んじることなく、来訪者ニーズを取り入れ、継続性のある事業、催事となるよう見直しながら取り組んで行く。
---------	---

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】